

1 保育者としてのペダゴグ(pædagog)について

(1)日本語名:社会生活支援士

←「社会教育(生活)指導員」・「生活指導教員(教諭)」

(2)活動場所・支援対象(Social Entrepreneur)

幼稚園、保育園、国民学校0年生、学童保育センター、社会福祉施設(老人福祉・障害者施設など)、ホームレス、薬物乱用者、精神病患者、親のアルコール・薬物依存によって施設に入っている子どもたち、発達障害のある子ども・成人、移民の子どもたち など

(3)活動内容:子どもから青年および成人までの様々なニーズがある人々に、円滑に社会生活を送ることができるよう適切な支援を提供する(専門職)。

2 ペダゴギーの養成課程の概要と特徴

(1) 同国の就学前教育の概略

- 6ヶ月～2歳児 保育園(保育ママ)
- 3歳児～5歳児 幼稚園
- 統合幼稚園: 幼稚園と保育園が併設
 - 原則、読み書きや算数は教えない。
 - 遊びを通して人とのコミュニケーションの取り方、社会性を学ぶことを主な教育内容とする
- 就学前(0年生)クラス
 - 主に満6歳に達した幼児を対象に国民学校に併設
 - 国民学校での生活の準備(2009年度から義務化)²

2 ペダゴギーの養成課程の概要と特徴

(2) その概要

- **教育目標** (Education Act to professional as educator, 2006)

(1) 職務遂行のために理論的・実践的基礎を訓練する。

- ① 子ども、青年そして薬物依存症の大人と専門的な関係を結び、良き助言者として働き、彼らの両親を支援する。
- ② 言語的・文化的背景に関係なく社会的目標と価値を共有する。
- ③ 研修実習において適切な理論と方法を獲得し、活用する。
- ④ 教育活動と理論的過程を計画、実行そして調整する。
- ⑤ 同僚を始め関連した領域の全ての職員とも協力する。
- ⑥ 実践の分析・評価・証明によって高質で新規な方法の開発

(2) 専門職として、職務上または学問分野において特化した領域を通して職業上の訓練を行う。

● カリキュラムの概要 (リレベルト大学社会教育学部)

図1 ペダゴギー養成カリキュラムの構成

1 年 生	第1学期	第2学期	
	大学での授業(30単位)	実習 (約12週間*・14単位)	大学での授業 (16単位)
2 年 生	第3学期	第4学期	
	実習** (6ヶ月・26週間・30単位)	大学での授業(30単位)	
3 年 生	第5学期	第6学期	
	大学での授業(30単位)	実習(6ヶ月・26週間・30単位)**	
4 年 生	第7学期	*47日間 **10日間は大学へ	
	授業・学士論文作成 (30単位)	実習:計74単位 総計210単位(ECTS単位)	

● カリキュラムの概要

(University College Lillbælt The Social Education Programme)

表1 科目による単位表

必修科目または選択科目(Fag eller fagligt element)	ECTS
教育学(Pædagogik)	4 3
国語・文化とコミュニケーション (Dansk, Kultur, Kommunikation)	2 8
個人・機関と社会(Individ, Institution og Samfund)	1 8
選択科目(Et linjefag)	3 0
実習研修(Praktikuddannelse)	7 4
専 門(Specialisering)	5
最終学士論文(Bachelorprojekt)	1 2
合 計(I alt)	2 1 0 5

● カリキュラムの概要

表2 学期ごとの単位表

学年	1年生	2年生		3年生		4年生	合計
科目\学期	1・2	3	4	5	6	7	
教育学	18		6	10(専門)		9	43
国・文・コ	9		6	13			28
個・機・社	9		9				18
選択科目※	7		9	5(専門)		9	30
専門科目	3			2			5
研修実習	14	30			30		74
最終学士論文						12	12
合計	60	30	30	30	30	30	210

※ 「健康・身体と運動」・「表現・音楽とドラマ」・
「野外教育・クラフト、自然と技術」の内から1科目選択

(3)その特徴

- **現場実習の重視(長期にわたる実習期間)**

- 全7学期のうち、約2.5(64週)学期(1,972時間)
必卒業単位210単位中、実習は30単位
(実習時間)

第2学期(1年)	6時間×47日(12週)	=282時間(無給)
第3学期(2年)	32.5時間×26週	=845時間(有給)
第6学期(3年)	32.5時間×26週	=845時間(有給)
合計		1,972時間

- **実習期間中の待遇と指導体制**

(3)その特徴

● 保育者の感覚を養うための科目の充実

— 感覚的(芸術的・活動的)科目 (Aesthetic subjects) —

・ 1年時に3科目全てを履修、2年生以降で1科目を選択

1)「**健康・身体と運動**」:遊び、運動、ダンスなど通じて個々の身体への意識、活動の喜びや達成感、健康への意識を促進させることを目的とする。

2)「**表現・音楽とドラマ**」:ドラマ活動の目的を「想像力、創造性と柔軟な考え方の発達」と「焦点化と集中力の発達」の促進としている。

3)「**野外教育・クラフト、自然と技術**」:自然物などを使い表現すること、第三者への自己表現、活動する喜び、自己開発欲を向上させることを目的とする。

3 「野外教育・クラフト、自然と技術」の目的・効果

- 目的と概要

この科目の学習は、自然物などを使い表現すること、第三者への自己表現、活動する喜び、自己開発欲を向上させること、さらに感覚的観点(aesthetic dimension, デンマーク的・北欧的理解)が、どのようにして自然の中での手工芸における活動を豊かにし、刺激を与えることができるかを学ぶことを目的とする。そして、学んだ理論と実際の活動が子ども時代と子どもの遊びについてのデンマーク的理解の特徴(感覚的観点)を示すものとして位置づけられている。

4 野外教育(Outdoor Education)の効果

- 病気が少なく、集中力が高く、運動能力・機能が高くなる。また、このことによって感じるストレスも低い。
(町中の幼稚園と自然幼稚園の比較調査・スウェーデン)
- 自然の素材を用いて遊ぶ子どもは、語学能力、精神能力、社会的能力の三つがより高い(ノルウェー)
- 自然に触れあう機会を増やし、表面に触れること、感触を知ることによって工芸のスキルが向上する。
- 子どもの体力に応じた道具を用いることで、言語、精神面また社会化の面、さらに道具を使う技術などの技術能力も発達する。←ライフ准教授へのインタビュー¹⁰

デンマークの子どもたちは自然とふれあい、 遊ぶことから何を学んでいるのか？

- 自然の幼稚園のほうが、園児にかかるストレスが少ないと言えます(25年小学校教員の経験)。
- 自然界に存在する具体的な素材で遊ぶ子どもたちは、このような自然と触れあう形で、民主主義、発話、語学、精神面に関する経験をして発達していくのです。
- そしてもう一つ私が思うことはデンマーク流の特別な教育方法は、ほとんどの時間の使い方を自分で選べるということです。彼らはそうして事実を自分自身で試して計画、実行していくのです。子どもたちは情熱を持つべきであり、彼ら自身がやりたいと思ったことを自主的にすることができるのです。
- デンマークの教育の仕方は、自然の素材(具体的なもの)を使ってより長い時間遊び、数字や文字などの表象的なものにはより遅く触れあわせるのです。

- 自然の中で遊びが、社会的能力の向上につながる！
- 私の意見では、彼らはリラックスしていて思いやりの心を持ち、開放的に見えるのです。このことに関しての1つの説明としては外にいて、広い遊び場があるので言い合いや衝突が少ないのです。そして彼らは自信がありますし、自然の遊び場では危険も少ないです。全てのものが彼らの社会化に繋がっているわけです。しかし自然の中にいると、子どもたちはずっと上手に遊べますし、お互いに協力し合うのです。それも自分なりの、自分がやりたい方法で。
- 私の目には彼らはより開放的で親切で楽しそうに見えます。例えば、私が「ファイアースプレースを作りましょう！」と言ったとしましょう。彼らは役割分担を行い始めます。そして他の子どもたちもすぐ今をやるうとしているのかを察し、すぐに手伝いを始め一緒に活動します。これらの状況は社会的能力を発達させますよね。

●日本の幼稚園を自然幼稚園に！

- 自然を逆に取り入れる、これはデンマークの伝統なのです。自然のものを持ってきて活動を行うということです。
- 幼稚園の中に自然のものを取り込み、それを園児と一緒に見て学ぶということです。そして持ち込んだ素材について知ることです。自然を持ち込んでそれについて学ぶとき、同時にあなたがたの文化について掘り下げるのもいいと思います。
- 表面に触れること、感触を知ること、これは工芸が上手くなるための一つのステップだからです。自分で素材を使って試行錯誤しながら、その素材について経験し、知り、技術力を獲得するのです。これが大切なことなのです。これはデンマークのスカンジナビア独特の教育方法・教育(哲)学であり、「子どもは汚れるべきである」という言葉であらわすことができます。
- 一年中、自然や天気と触れ合うことはスカンジナビアの国々、デンマーク、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド独特のもの。

●子どもに合った道具を準備する！

- 私の哲学では、私の哲学の大きなポイントは、たとえ小さい子どもたちでも、自分が正しいと判断を下したことは行動するべきであるということです。子どもは、大人と比べるとあまり筋力や体力がありません。しかし、小さな子どもでもあなたがたが想像する以上のことができるのです。適切な道具を使用することでより高度な技術が身に付き、より社会化するのです。
- これが、私が小さな道具を作り、準備する理由です。ただその小さな道具を使って遊ぶだけでも、言語、精神面また社会化の面においても発達します。そして、道具を使う技術や能力も発達します。私はこのような可能性にも注目しているのです。
- 彼らは小さなエンジニアなのです。彼らはエンジニアになることで集中力と工作力を発達させ、後の人生や仕事によい影響を受けるのです。

5 考察・まとめ

- 第2の音楽的観点(the second music dimension)
保育者は、芸術的(活動)過程において材料を用いる時
感覚や感情を通じて楽しかった経験(音楽による経験,
the primary music dimension)が呼び起こされる必要
がある。
- 技術者としての幼稚園の子どもへの支援
彼らの発達段階に似合うように作られた道具を使い、
自己決定を行う中で、様々な力を獲得する。
“子どもが環境に順応するのではなく、その代わりに
私たちが子どもとの環境に適応するのである。”¹⁵